



関中央ロータリークラブ

2016-2017 WEEKLY REPORT



例会日 毎週木曜日 18時30分

例会場 関観光ホテル（関市池尻91-2）

事務局 関市西本郷5-2-53 TEL0575-24-7332・FAX0575-23-5278

会長：石原 妙生 **副会長**：川村 紳一 **幹事**：波多野 篤志 **クラブ会報委員長**：吉田 和也

2016～2017年
国際ロータリー会長
ジョン F. ジャーム

ロータリーで何か発見を！

2016～2017年度 関中央RC会長テーマ

四つのテスト
・真実かどうか
・みんなに公平か
・好意と友好を深めるか
・みんなのためになるかどうか

本日のプログラム

第1870回例会 2016年8月25日（木）

会員卓話 神谷秀幸会員 テーマ 「関市のスポーツ振興の現状」／担当：出席委員会

前例会の記録

第1869回 2016年8月18日（木）

卓話 米山記念奨学部門委員長

後藤博美様（岐阜サンリバーRC）

テーマ 「米山記念奨学会について」

担当：米山記念奨学委員会

*ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

*お客様紹介

米山記念奨学部門委員長

（株）美濃商会 代表取締役専務 後藤 博美様

（岐阜サンリバーRC）

*会長あいさつ 石原妙生会長

皆さんお盆はどの様に過ごされましたか？

ゆっくり休まれた方、あるいは私のように飲み過ぎ・食べ過ぎの方いろいろお見えになると思いますが、ご先祖様の供養はしつかりとされたことと思います。



尚、8月14日は関市花火大会後の清掃で、早朝5時より12名の参加を頂きゴミ拾い作業を行い、ご苦勞様でした。

さて、本日8月18日は「高校野球記念日」です。1915年（大正4年）大阪の豊中球場で第1回が開催されました。第10回から甲子園球場となり昭和23年より現在の大会になったそうです。

高校野球といえば今も甲子園で熱い戦いが続いています。少し前になりますが、駒大苫小牧の田中（マーク）と早実のハンカチ王子、齋藤の決勝戦延長15回引分け再試合は大変しびれた内容で記憶に残っています。一発勝負の熱い戦いは大変感動するものです。

又、熱い戦いといえば地球の裏側のリオでオリンピックが行われています。

戦前JOC（日本オリンピック委員会）の予想では金メダル14個です。幸先よく水泳・柔道・体操で金メダルを獲得しました。中でも体操の内村選手は団体・個人総合でのメダルで大変な「精神力」と「集中力」には感服致しました。

そのほか、卓球でも素晴らしいプレーの数々には、

ねばりであるとかあきらめない気持ち等、見ている方も熱くなりました。今朝もレスリングで3つの金を獲得しました。さらにこの後もメダルラッシュを期待したいです。

ロータリーでもさる8月7日に三重県で行われた、IA年次大会へ出席をしました。内容については来週、古田委員長から発表してもらいますので、私からは特に印象に残ったこととお話しします。記念講演で講師が紹介した熊本県の「湯の児スペイン村福田農場」の前代表の想いの中の言葉に「道徳の無い経済は犯罪である」・「なやめる貝のみ真珠が宿る」・「にげない、うそをつかない、あきらめない」以上の言葉が大変印象的でした。

尚、本日はこの後、会員の時間ということでRCのキャリアの多い先輩方に「RCをやっている良かった事」などほんの一部をお話ししてもらいます。

*会員の時間

前田仁夫会員

今日はロータリーに入会してよかったことを3つお話しさせていただきたいと思えます。私はロータリーに40年近く加入させていただいております。海外も含めまして今までメイクアップで450回以上参加させて頂いております。入会以来通算しまして、一度も今日まで休んだことがないということになっております。これもメイクアップというロータリーの良い制度があったからだだと喜んでおります。2つ目ですが、第11代目幹事、第18代目会長、ガバナー補佐、米山奨学生カウンセラーなど様々な役をさせていただきました。そういったことを通じて、今日講師で来ていただいている後藤様もよく存じあげております。多くのロータリーの方と知り合うことができたことがよかったと思っております。3つ目は娘のことになりますが、オーストラリアに一年間交換学生としてお世話になりました。交換学生になってからは精神的にも行動力も非常に成長させていただいたように思います。



*卓話

米山記念奨学部門委員長

後藤 博美様

(岐阜サンリバーRC)



テーマ

「米山記念奨学会について」

皆様の寄付金はすべて奨学事業に

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会の活動は、「平和日本を世界へ」国際親善と世界平和に寄与するため、東京ロータリークラブから始まった「米山募金」は、今や半世紀以上の歴史をもつ日本最大の民間国際事業となりました。国際ロータリーが認めた「多地区合同活動」であり、その財源は日本全国のロータリアンから毎年いただく寄付金が支えています。善意の結実である寄付をどんな留学生に支給し、どのような人材に育てていくかは、ロータリアン皆様の理解と参加にかかっています。2014-15年度の寄付金収入は14億1,474万円でした。いただいた寄付は採用枠720名の奨学生のほか、地区、世話クラブ、学友会への補助費など奨学事業だけに使われています。事務費や人件費などの管理費支出は、資産の利子収入で賄っています。*年度寄付金収入の82,2%奨学金補助費ほか13,3%（利子収入管理費4,5%）

*寄付金の種類「普通寄付金」と「特別寄付金」の2種類があります。いずれも使い道は同じです。

■普通寄付金：各クラブが決めた金額×会員数分を国内全クラブから納入いただいても、安定財源として必要です。

■特別寄付金：個人、法人、クラブからの任意の寄付金で、金額も自由です。一定金額に達するごとに表彰制度があります。（豆辞典を参照下さい）

米山記念奨学会では財政の健全性、透明性の確保に十分配慮しています。内部監査に加え、公認会計士による外部監査として、公正な立場から毎月全伝票のチェックを受けています。決算報告もホームページ上で公開しています。詳細な計算書類は「事業報告書（統計・資料編）」に掲載して、毎年9月下旬に全クラブに送付しています。すべての寄付金に税制優遇が受けられます。詳しくは、豆辞典をご参照ください。

2630地区米山記念奨学委員会の年間スケジュールは、

7月、次年度の奨学生指定校選定書類作成東京米山本部への送信、9月には、米山記念奨学生中間激励会報告会、10月地区大会において、米山ナイト開催「委員会、奨学生、学友会」参加、11月面接官オリエンテーション開催、12月～1月次期奨学生面接選考会開催、3月奨学金修了式（卒業式）4月新奨学生、世話クラブ、カウンセラー、大学指導教官オリエンテーション（入学式）の開催。6月・12月全国34地区米山委員長研修セミナー（東京）に参加。

地区寄付金目標額：普通寄付金¥5,000以上・特別寄付金¥10,000以上（3年計画）です。

日本のロータリアンの熱意によって支えられてきました。奨学生や学友は、皆様の思いを受け止め、日本で、世界で頑張っています。この灯を消さないために、今後とも皆様方のご理解、ご協力をよろしくお願い申しあげます。

***出席委員会**

会員数29名、本日の出席14名です。

***メイクアップ報告**

8月7日 インターアクト年次大会

石原妙生会長、波多野篤志幹事、

古田 博文インターアクト委員長

8月9日 関RCへ就任のご挨拶

石原妙生会長、川村紳一副会長、波多野篤志幹事

***ニコボックス委員会**

・後藤博美様

米山の卓話に伺いました。宜しくお願い致します。

・会長・副会長・幹事

米山記念奨学部門委員長、後藤博美様本日の卓話よろしく申し上げます。

・小澤重忠君

本日はご多忙の中、米山記念奨学部門委員会委員長後藤博美様にお越しいただきありがとうございます。

本日の卓話よろしく申し上げます。

15名のご投函ありがとうございました。

<次例会のご案内>

第1871回 2016年9月2日（金）

ガバナー公式訪問

3RC合同例会(美濃・関・関中央)